

平成 26 年度 かながわ森の町内会事業 業務評価書（自己・相互）

（発電課）

1 成果に関する評価について

（1）設定目標は達成できたか

平成 26 年度が最終年度となるが、累計 150 社の企業等から、かながわ森の町内会事業に賛同をいただくことを目標に取り組み、平成 27 年 3 月末日において、152 社から賛同を得られ、目標を達成することができた。

（2）効率的・効果的に対応できたか

文書の PDF 化（電子化）により、パンフレット等の印刷用紙やコピー用紙の使用量の減少が全体的に進んでおり、例年に比べ、新たな賛同者や間伐支援費の獲得については減少したものの、間伐材搬出の支援については、新たな協力先を得ることができ、前年度よりも多く搬出することができた。

なお、新たな賛同者の獲得については、各企業等への訪問に加え、国や市、企業庁等が開催するイベントに積極的に参加し、多くの企業等に対して効率的に PR するとともに、製紙会社の協力のもと、コピー用紙のオリジナルパッケージを作成することができ、販売促進と PR 強化につなげることができた。

（3）協働実施したことで、どのような効果があったか

企業庁にとっては、森の町内会活動に関する経験不足を、環境 NPO「オフィス町内会」の豊富なノウハウにより補い、円滑な事業運営を図ることができた。

また、環境 NPO「オフィス町内会」にとっては、神奈川県における知名度の不足を、神奈川県企業庁が県内企業等よりいただいている信頼により補い、円滑な事業運営を図ることができた。

2 協働の進め方等に関する評価について

（1）対等な関係を保持できたか

対等な関係の保持が図られた。

（2）プロセスは共有できたか

役割分担を定め、随時に打合せや連絡をこまめにとり、プロセスの共有が図られた。

3 役割分担に関する評価について

(1) 役割分担は適正だったか

概ね適正であった。

4 今後の課題と対応について

(1) 今後の課題

ア サポーター企業等の確保

かながわ森の町内会事業に賛同していただいた企業等に、今後も継続して信頼していただくとともに、新たな企業・団体等に、より多くの賛同をいただくため、さらなる工夫に努める必要がある。

イ 間伐対象森林の拡大

間伐を実施する対象森林の拡大に向け、本事業に賛同する県内の森林組合等と、環境NPO「オフィス町内会」の持つノウハウを活用し、さらなる工夫に努める必要がある。

(2) 対応

ア 継続した取組

より多くの賛同をいただくために、提案活動の効率化や新たな活動方法についてさらに検討し実施していく。その一環として、平成27年1月中旬よりコピー用紙をオリジナルパッケージで販売開始している。

賛同していただいた企業等には、「間伐現地見学会」を開催し、本事業への理解を深めていただき、継続的な協力をお願いしていく。

イ 平成27年度以降の取扱の検討

事業期間を5年間(H22-H26)とし、協働事業として取り組んできた結果、本事業が神奈川県内で機能していく体制を整備することができた。

しかし、この事業は、健全な森林の育成を目的としており、賛同・協力を得られた企業等とともに、長期にわたり実施していくことにより、大きな効果が得られるため、継続して取り組んでいくことが必要であることから、役割分担等を見直し、「神奈川県電気事業経営計画」の計画期間である平成31年3月まで、協働事業として取り組んでいくこととする。